



December. 2021

- ・全日本インカレ報告
- ・全日本470報告
- ・新幹部紹介
- ・ナイトセーリング
- ・今後の予定

全日本インカレ

11月3日(水)～7日(日)
@豊田自動織機海陽ヨットハーバー

<1日目>

1年間の集大成であり、目標である「日本一」への戦いが幕を開けました。初日は予定通り出艇し、470の第1レースがスタートしましたが、途中で大きく風が振れ、N旗が上がりノーレースになりました。

その後、北西の風が安定して吹いてきて、両クラス3レース実施しました。国際470級は団体成績11位、国際スナイプ級は団体成績12位、総合成績10位となり、良い順位と言える結果ではありませんでした。しかし、リコールやケースを起こしてる大学がいる中で、九州大学は横文字をつけませんでした。反省を入念に行い、次の日のレースに備えました。(奥田)



<2日目>

2日目も予定通り出艇し、第4レース目がスタートしました。北西の10～16knotの風で3レース実施しました。九州大学が得意とする風であり、国際スナイプ級第6レースで蔵藤/伊藤ペアが7位とシングルをとりました。また、国際470級第6レースでは、森/上野ペアがトップフィニッシュを飾り、陸上海上共に大いに盛り上がりました。

しかし、リコールで横文字がつき、反省点も多く見つかりました。国際470級は団体成績9位、国際スナイプ級は団体成績11位、総合成績10位となり、残り5レースに向けた折り返しとして、次の日に備えました。(奥田)

<3日目>

2日目の挽回を図るべく気持ちを切り替えて迎えた3日目は、9:30にD旗が掲揚され出艇したものの、風が不安定なため海上にてAPH旗が掲揚され、1レースも成立することなく終了しました。

しかし、この日は多くの先輩方がハーバーにて激励のお言葉をくださり、不完全燃焼な気持ちが晴れ改めて気を引きしめるきっかけとなりました。(川野)



<4日目>

いよいよ全日本インカレ最終日を迎えました。この日も風が弱く、最終予告信号予定時刻まで海上にて風待ちをしましたが、風が無くAPA旗が掲揚され、本大会が終了しました。

せめて1レースでもしたかったというのが率直な気持ちでした。

この1年間、選手、マネージャーともに夢中になりインカレ優勝を目指して取り組んできました。

結果は470級9位、スナイブ級11位、総合10位となりました。

目標としていた日本一には届かず悔しい思いをしました。しかし、最後まで全員が勝つことを諦めず、戦い抜いたことを誇りに思い、次の代に繋げたいと思います。

全日本インカレ期間中、多くの先輩方、保護者の皆様にご声援ならびに差し入れをいただきました。誠にありがとうございました。(川野)



全日本 470

11月18日(木)～23日(火)
@江ノ島ヨットハーバー沖相模湾

11月19日(金)～22日(月)に全日本470級ヨット選手権大会が行われました。全体的に苦戦したレースが多く、反省点も多く見受けられたと感じております。特に21日に関しては、1レース目は10～14knot程の風でしたが、2レース目以降は5knot程になり、シフトも大きく、不安定な風に大変苦戦するレースとなりました。成績としては良い結果を残すことができませんでしたが、沢山の学びを得られたと感じております。この学びを生かし、部員一同練習に励んでまいります。(河原)



新幹部紹介

「共闘」

11月14日(日)に交代ミーティングを行い新体制が始まりました。テーマ「共闘」のもと山下主将を中心に、互いに高め合いながらより良いチームを作っていきます。

主将

山下龍司



今年一年間、主将として達成したいことは強いチームを作ることです。そのために、基礎的なことの徹底から行っていきたくと思います。他の強いチームを参考にしながらも、九州大学ヨット部として、独自の進化をできるように精進していきたくと思います。

今年一年間、副将として絶対に達成しないとイケないことは、絶対に事故を起こさないことです。そのために、日頃から安全に対する意識づけ、トラブルが起こった時の対応を部員全体で共有していきたくと思います。また、広い視野で部員一人ひとりを見て、全員で目標に向かって努力できるような環境づくりに取り組んでいきたくと思っています。

1年間よろしくお願いします。



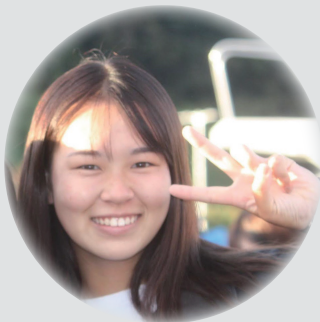
副将

上野大一

マネージャーリーダー

広報部長

川野七海



「誰よりも日本一を信じ続けること」これが今年のマネージャー指針です。人と比べることなく、全員が日本一を見据えた行動をすればきっと自ずと結果はついてくると思っています。マネージャーリーダーとして、一人一人の成長や変化に気づき、1年後、全員で琵琶湖で笑えるように頑張ります！

広報部長としては、日本一応援されるチームを目指し、日々の情報発信に努めてまいります！

日本一になるために、何をすべきかを考え続けるのがレース技術部です。皆が成長できるような練習メニューなどを考えていきます。



レース技術部長

奥田祐大

主務部長

奥田茉実菜



九州大学ヨット部が活動する上で欠かせない外部との交渉や各行事の運営など、全ての仕事をミスなくできるよう努めていきます。

まだ主務部になって1年も経っていませんが、責任感を持って頑張ります。1年間よろしくお願いします。

ヨット部は部の運営のために部員から多額の部費を集めていて、予算は学生が扱うにしてはとて高額です。また、全体バイトの計画や遠征費の徴収をしたりして会計部の仕事は部にとって重要な仕事のひとつです。

こうして集まった限りある予算の使い道が正しいかを見極め、チームとして部が強くなるために本当に必要かを考えて責任をもって管理していきたいと思えます！



会計部長

柳田真莉萌

学連部長

下川隆治



学連部長を務めることになりました下川です。

これから1年間、九州水域の代表として、各大学の学連委員の学生・役員の方と連携しながら仕事を進められるように頑張りますので、よろしくお願いします。

この度、新練習安全部長に就任いたしました高橋遥です。練習安全部では主に、安全資料の作成、レスキュー艇の管理、部の備品管理を行っています。私ごとではありますが、2年生の頃に広報部から練習安全部に転部しました。練習安全部員になった当初は、先輩方の中で船外機のことなど知らない用語がたくさん行き交っており、ついていくのに必死だったことを覚えています。麻友さん、レナさん、美彩さんに今まで教えていただいた知識を活かして、この1年事故のないよう安全第一に努めてまいります。また、今年からは部署に選手も所属し練習安全部員は7名います。人数の多さを活かし、仕事の幅を広げていきたいです。今年1年、何卒よろしくお願いいたします。



練習安全部長

高橋遥

徳永美遥

遠征計画部長



今年度遠征計画部長を務めさせて頂くことになりました、新4年の徳永美遥です。今年度は遠征が多くあることが予定されていますが、選手がいつも通りの実力を出せるような、サポート全員がやりがいを感じ満足できるような遠征を計画することを目標に頑張っていこうと思います。1年間よろしくお願い致します！

選手管理部は、選手がレースで最大限のパフォーマンスを発揮できるよう、フィジカルトレーニング、食事、モチベーションなど、さまざまな面から選手のコンディショニング管理を行う部署です。そして、それらをもとにした選手の現状を分かりやすくデータ化し、選手に伝えていきたいと思っております。1年間よろしくお願い致します！

選手管理部部長

原田二千夏



人事部長
宮本海里



人事部は九大ヨット部の組織力を向上させるための部署です。優れた人材が集まっている九大ヨット部の部員1人ひとりが適材適所で活動できるよう人員配置を行っています。部員1人ひとり向き合い九大ヨット部をより良い方向に導けるよう頑張ります。1年間よろしくお願い致します。

ナイトセーリング

11月15日(月)～18日(木)
@小戸ヨットハーバー

11月15日(月)～18日(木)の4日間に渡りナイトセーリングを開催していただきました。ナイトセーリングでは普段出艇しない時間帯に海に出ることができ、見慣れた博多湾の景色が夜景に変わり、とても美しく新鮮に感じられました。また、クルーザーの操縦体験もさせていただきました。実際にセールを上げ、タックなどの動作もさせていただきました。玄海がセールを上げているのを見るのは初めてでした。タックではジブの張替えを数人で行うなどディンギーとは全く違う動きが新鮮でした。最後になりますが、コロナ禍の中、私たち現役部員のためにナイトセーリングを企画していただいたOBの方々に心より感謝申し上げます。(鈴木)

今後の予定

- 12/8(水)～12/12(日) 第74回全日本スナイプ級ヨット選手権大会
- ～12/25(土) 冬練習
- 12/26(日)～ オフ期間
- 12/23(木) 安全講習会

